

## タデ原の水源

タデ原が湿原として特徴的である主な理由は、標高の高さです。飯田高原の海拔 1000m 強に位置するタデ原湿原は、三俣山や指山から流れ出る泉の水で作られました。

くじゅう地域の小川は、飯田高原沿いを流れています。この地方は降水量が多く、雨から水を得ています。年間降水量約 3000mm が、この地域の森や草原に溜まり、小川に流れ込んでから、坊ガツルが源流の鳴子川や、硫黄山を源流とする高酸度の白水川のような川に水を与えています。

硫黄山は、くじゅう連山で唯一の活火山です。白水川には硫黄が流れ込んでいるため、白色で酸度が高く、この名前が付けました。硫黄山を水源にする白水川の過酷な環境で繁殖する生物はほとんどいませんが、湧水を水源とするタデ原湿原には、タカハヤという、小魚がいます。